

◆CM大賞

下に記しましたが、一次審査通過の知らせが11月1日に来ました。たくさんの「がんばれ」を頂き今年も最終審査に行って参ります。

今回の作品は昇龍まつりでもご覧いただけたと思いますが、また天龍チャネルでもご覧いただけたと思います。また天龍チャネルでもご覧いただけたと思いますが、また天龍チャネルでもご覧いただけたと思います。



最終審査は12月3日(日)長野市のホクトホールにて開催されます。今年は一般的な観覧もできるようですが、まだ放映日結果もお知らせ致します。

12月3日(日)
長野市ホクトホールにて
最終審査です。
今年は一般観覧もOK!

加藤まゆみ

ありがとう隊新聞

令和5年11月24日
第127号
編集:加藤まゆみ



篠田大樹 前川未来 松川友哉 大石航平 加藤まゆみ 小幡厚子 望月ひとみ

十一月に入り、途端に冷える季節となりました。自身の活動としましては、先月に引き続き天龍村の歴史書籍の制作に向けた原稿の作成を行いました。

財産は人間らしさの前提

前回の記事が難しいのは、似ている用語が並んでいるからです。その整理から始めます。(1)財産、(2)資源、(3)資産、(4)富、(5)資本はどれも似た用語なので混乱します。人間が生きていく上で必須なのが(2)資源です。例えば食物は人間にとつて資産になります。その食物を生産するには、労働力と土地が必要です。さらに太陽光や土壤、水が必要です。これが(3)資源です。そして資源を生み出しているのは、自然環境や人間関係です。このとき資源を生み出す自然環境や人間関係は(1)財産です。

④富とは余剰したものです。例えば賃金労働者は、毎月受け取る賃金があります。そのうち税や社会保障、食費、家賃などを払って必要な商品やサービスを

享受します。商品はもともと資産として生産されていてるので、お金を払って誰かが生産してもらった資産を商品やサービスとして享受します。このときまだ手元に残るお金があります。それが(4)富です。一番理解しづらいのは、(5)資本です。例えば手元に残ったお金(富)を元手元にさらに富を増やそうと考えたとします。富を使ってさらに富を拡大しようとしたとき、富が資本に転化したといえます。つまり(5)資本とはさらなる利益追求をするためのものです。共同体が解体するのは、資本主義社会におけるもつとも特徴的なことである、財産の代替として資本が社会の基準になると、富を元手に資源、資産、富を取扱うことができるようになると、財産が不要なものに感じられますが、不要な物に感じられることがあります。

この場合の人間関係は人間の経済的価値の側面で構築されています。しかし人間の価値は経済的価値のみならず、政治的価値や文化的価値など多様な側面があります。この結果、自分が積極的に他者と関わろうううと考えなくなります。他人と積極的に関わることで、共同体としての効率化が可能になります。それが人的資本です。地域社会などの良好な人間関係があるからこそ労働力を積極的に出そうとします。しかし、そうした財産がなくても労働力を積極的に出そうとします。それがあなたの資本となります。そのためのものは、投資の対象となります。人間を資本として資本ととらえ、投資の対象とする考え方です。人的資本は自己を資本として機能させていきます。己の生産的機能を高め続けることで、資源であります。労働力を獲得していくことで、資源であります。労働者が積極的に労働力を供出するのは、人間関係といった財産があるからです。家庭や職場、地域社会などの良好な人間関係があるからこそ労働力を積極的に出そうとします。富を使つて社会においても労働力を供出するためのものです。共同体が解体するためのものは、資本主義社会におけるもつとも特徴的なことである、財産の代替として資本が社会の基準になります。

この結果、自分が積極的に他者と関わろううと考えなくなります。他人と積極的に関わることで、共同体としての効率化が可能になります。それが人的資本です。地域社会などの良好な人間関係があるからこそ労働力を積極的に出そうとします。しかし、そうした財産がなくても労働力を積極的に出そうとします。それがあなたの資本となります。そのためのものは、投資の対象となります。人間を資本として資本ととらえ、投資の対象とする考え方です。人的資本は自己を資本として機能させていきます。己の生産的機能を高め続けることで、資源であります。労働力を獲得していくことで、資源であります。労働者が積極的に労働力を供出するのは、人間関係といった財産があるからです。家庭や職場、地域社会などの良好な人間関係があるからこそ労働力を積極的に出そうとします。富を使つて社会においても労働力を供出するためのものです。共同体が解体するためのものは、資本主義社会におけるもつとも特徴的なことである、財産の代替として資本が社会の基準になります。

記 大石 航平

十一月の活動内容

◆郷土料理を学び味わおう③
10月22日に「五平餅と豚汁の会を開催しました。今回は30名の方が参加してくださいました。ミドルベリー大学の学生さんと交流もでき、今回も美味しい楽しい会になりました。

次回は12月10日「大汁ゆぼし柿巻きです。初めての参加も大歓迎です。ご連絡ください。

◆WACHI CAFE
10月28日のわちふえではWACHI CAFEにていざなす生産者組合さんとの「ラボでカレーを提供させて頂きました。茄子がトロトロでカレーとの相性も良く、用意していただけた分はお昼には売り切れました! 村でいざなすがせるところが増えるといなあと思いますので、またいざなすシーズンにできたらと思います。

おそうじ道 ⑯ 「大掃除チエックリストを作ろう!」
10月28日のわちふえではWACHI CAFEにていざなす生産者組合さんとの「ラボでカレーを提供させて頂きました。茄子がトロトロでカレーとの相性も良く、用意していただけた分はお昼には売り切れました! 村でいざなすがせるところが増えるといなあと思いますので、またいざなすシーズンにできたらと思います。

加藤まゆみ

第23回 **ふるさと CM大賞 NAGANO**

今回の天龍村の作品は…

生きる力をつなぐ村

この春、4兄弟の長男となった村澤 玄埜くん(福島地区)が「にんじんを育てて売りたい」と宣言しました。5歳にして芽生えた責任感と自立心。それを尊重し応援する村の人々。後半の「がんばれ」コールには

延べ230人の皆さんに参加していただきました。

年齢に関係なく、血のつながりを越えて、人と人との繋がりを大切に生きるこの村だからこそ生まれた作品です。

今年も皆さんのお力を借りし、作品を創り上げることができました。ありがとうございました!!



↑こちらでご覧いただけます

小幡隊員は療養中により当面の間、休職しております。新聞の掲載はお休みさせて頂きます。

立冬を過ぎ、暦の上では冬ということですが、十一月前半は少し暑く感じるくらいでした。目に入る視覚的な気候と体感の気候とが合っていなくておかしな感覚です。

十月から十一月にかけて、村内や近隣の市町村でもイベントが多く開催され、「ここ数年のことと思うとともに賑やかな秋になたお手伝いに入る」とが多かったのですが、秋のキャンプ場も大賑わいで、たくさんの方が天龍村を選んで訪れてくださっていることを天龍村の穏やかな活気を感じるいろいろな場面で感じられる秋となりました。

文 前川 未来

モチ「天龍やんやんや」

文 望月ひとみ

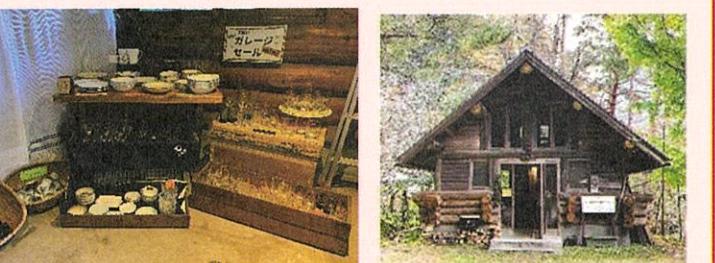
● いざなす栽培 ガレット教室

天龍村林業女子研究会の活動
（伐木とチップ作り）
研究会員と役場森林資源プロジクトメンバーが向方の林業研究会の皆さんご指導の下実施

いざなすはそろそろ収穫期を終えようとしています。出荷本数はおよそ二千三百本ほどとなりました（定植苗木本数は百三十七本）。暑さの辛い時期もありましたが、農作業は楽しい、と思える性分なので周りの皆様に支えられ楽しい農繁期でした。収穫が終わっても、すぐに次年度に向け土づくり、種まきがはじまります。引き続き、いざなす栽培事業に取り組んでまいります。

和知野川キャンプ場管理棟内の「天龍村ガレージセールミミ」を毎週土日と祝日に開催しています。規模はとても小さいですが、わたしたちで選んだ少数精録の食器たちを並べてありますのでもし興味のある方がいらっしゃいましたらぜひ覗きに来てください。

また、食器だけでなく本も並んでいます。椅子や机、ストーブも用意していますので、秋冬の籠りがちな時期、お家もいいですが、たまにはキャンプ場で、温かい物を飲みながらゆったりと穏やかな時間を過ごすというのもいかがでしょうか？



さて、十一月初旬にていざなすを使った伊那谷ガレット教室をしていざなす組合主催にて開催しました。伊那谷ガレットとは、伊那谷産のそば粉、シードル、発泡りんご酒、伊那谷の野菜を使用してつくる粉料理です。本場はフランスガレット教室は以前との方も多く、美味しかったという記憶をもとに改めて作りたいと参画してくださいました。方も、ご参加いただきましたみなさまありがとうございました。どんな具をいれてもよい、アレンジの効くガレット。



まつかわの活動

「十月中旬～十一月中旬」

松川友哉

● 和知野川キャンプ場
・わちふえす・わちふえす無事に開催することができます。当日は、宿泊は満場でイベントにも多くの方にお越しいただき、100人程の方々に楽しんできました。村の方とお客様の交流が少しでもできただけかなと思います。お忙しい中、出店やイベントをお伝えしていただいた皆様ありがとうございました。また来年も開催できたらと考えています。



・十月の状況・ありがたいことに週末は、混雑が続います。リピーター率は50%～30%程度でリピーターが増えているのを感じます。



例年十二月中旬から、メインの客層の中京圏のお客様が激減します。これは、スタッフレスイヤが無いためと考えます。通年でみると収益は上がりましたが、冬季の収益を少しでも改善するため、長野県内で人気のアウトドア系ユーチューバーの方に来ていただき動画を作成してユーチューバーなどに投稿していただきました。その他、ワチカフェ時に暖かく過ごせるよう薪ストーブの販売など、冬キャンプの利用促進に向けて行動していきます。



● 天龍村名物「ぬぐい第一弾」
好評発売中

村内各店にて
望月直接小売りも致します。



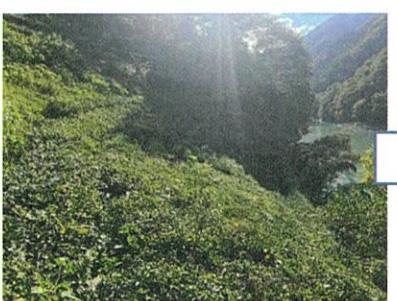
下伊那地域でそれぞれの地域の美味しい伝統野菜をのせて、「当地ガレット」として提供すれば、人を呼び込む素材になるので、はと感じました。以来村者に天龍村の旬の味を楽しめるよう、今後も伊那谷ガレット普及に関わていきたいと思っています。

天龍村林業女子研究会の活動（伐木とチップ作り）研究会員と役場森林資源プロジェクトメンバーが向方の林業研究会の皆さんご指導の下実施

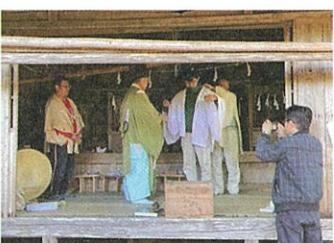
Before



After



● 松川携帯
■ 和知野川キャンプ場 営業中
坂部地区の神子に入いただきました。十月十七日に九月祭りが行われ、上衣をいただきました。全然リズムが取れず、うまく舞うには程遠いですが、来年の冬祭りに向けて精進していきたいと思います。



キャンプ場のインスタグラム
フォロワー1100人を超える。



WACHINO.CAMP